

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

山口市立大内小学校

学校・学年指導体制の充実

学校全体、学年全体の教員の連携により、指導の一貫性を図る。

具体的な取組の内容(1)

2016にこにこタイム AFPYでハッピー♥1年生
～141人 1つも 4あわせ 1ねんせい～ (スタートカリキュラム)



取組の具体

入学直後の6日間、1校時に体育館に集まり学年全体で活動した。

- ・学校生活に慣れさせる活動
「すてきな小学生になるひみつ」...あいさつ、トイレの使い方、廊下歩行、登下校のマナー
「保健室のやくそく」「給食のお話」「校歌を歌ってみよう」
- ・新しい友達、先生との出会いを楽しむ活動
「見てみて！〇〇先生」...先生の自己紹介と特技披露
「校長先生となかよしAFPY」
「なかよくなろう」...かもつ列車、手遊び、猛獣狩り

成果

- ・朝1番に楽しい活動を仕組むことで緩やかなスタートとなった。
- ・先生の特技披露を見ることで、親近感をもつことができ安心して登校できた。
- ・養護教諭、栄養教諭に直接に話をしてもらうことで身近に感じ、学校生活での約束ごとへの理解も深まった。
- ・学年部で役割を分担することで負担軽減になった。
- ・全教員で入学直後の子どもの様子を見るよい機会となった。
- ・毎回実施後に同学年で振り返りをしたことで、より効果的な活動へと仕組みを変えることができた。

具体的な取組の内容(2)

おたん生日会の実施



2か月に1度、みんなで誕生日をお祝いする場を設定した。

- ・プログラムは年度初めに決め、企画、準備、進行を担当クラスの子どもが行った。
- 「インタビュー」
好きな食べ物、動物、勉強
- 「お楽しみ」
学校〇×クイズ 先生クイズ
- 「先生の話」
先生が小学校の時の話 誕生日ってどんな日
先生と手遊び

成果

- ・みんなに誕生日を祝ってもらい、とてもうれしそうで自己肯定感を高めるよい機会となった。また、人に喜んでもらえるうれしさを実感する良い機会となった。
- ・同じパターンで会を繰り返したことで、見通しをもって安心して活動できた。どんどん慣れていき上手く会を進めることができた。
- ・たくさんの人の前で話す経験を児童全員がすることができた。
- ・本活動を、生活科での学習に生かす姿が見られた。